令和7年度　教育コミュニティづくり推進事業で重点的に取り組む課題に関する目標及び評価等

目標	取組み	達成を測る指標 【目標値】	結果・評価
学校以外で体験活動を行う児童生徒が増える。	・児童の放課後の居場所づくりを充実させるため、体験活動などに関わる地域のボランティア人材を活用できるよう推進員に働きかける。 ・地域学校協働活動推進員を義務教育学校に複数人配置する。 ・地域人材や企業・団体プログラムを活用し、放課後における子どもたちの体験活動の機会を確保する。	「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあるか」の問いに「よくある」「ときどきある」と回答した児童の割合60％（全国学力・学習状況調査） ※全国平均　39.4％	・普段参加しない児童の参加があり、放課後の居場所づくりの充実に繋がったが、現状の数値（54％）の結果となった。 今後も引き続き、放課後児童クラブとの連携型を実施していく。 なお、各小学校では、企業・団体プログラムに参加したことがきっかけとなり、通常の居場所づくり（校庭開放等）にも継続的に参加があり、放課後居場所づくりの拡充に繋がった。 今後は、地域人材も活かした活動を計画し、更なる居場所づくりの確保を図っていく。